第17回硫黄島に係る遺骨収集帰還推進に関する関係省庁会議 議長総括

- 本日、4月17日、硫黄島に係る遺骨収集帰還推進に関する関係省庁会議を開催し、昨年度における硫黄島遺骨収集帰還の取組状況等を踏まえ、今年度の実施計画等について決定しました。
- 昨年度の硫黄島における遺骨収容については、遺骨収集帰還団を2回派遣し、66柱の御遺骨を収容することができました。
- このほか、滑走路地区において令和元年度から行っている地下20メートル程度までの面的ボーリング調査を行いました。昨年度は新たな地下壕は確認されませんでした。令和3年度の面的ボーリング調査により確認された未探索の壕1箇所については、入壕するための開口工事を行ったほか、これまでのボーリング調査等により確認されたその他の未探索の壕3箇所（令和元年度1箇所、令和3年度1箇所、令和4年度1箇所）について、構造解析や入壕方法の調査・検討を行いました。
- 今年度の実施計画等においては、令和元年度の滑走路地区のボーリング調査等により確認された未探索壕1箇所について、入壕するための開口工事、壕内調査等を行います。
また、新たに硫黄島滑走路の維持管理に係るプレキャスト版実証実験の機会を活用した掘削調査を行います。
- 滑走路地区以外においては、引き続き、遺骨収容を行うほか、全伐開による表層の遺骨調査及び北飛行場跡地におけるボーリング調査を行います。
- 今後とも遺骨収集推進法の趣旨を踏まえ、本日決定した令和7年度実施計画に沿って、引き続き、関係省庁一体となって、しっかりと取り組んでいきます。